

# 柳城



発行所  
名古屋柳城短期大学

住所  
名古屋市昭和区  
明月町2-54

発行者  
田浦武雄

## 真理探究の旅へ さあ出発!!

理事長 森 紀 旦



大学生生活も始まって二カ月が経った。学生諸君の現在の心境はいかがであろう。

大学は、「真理探究の場」と呼ばれる。「真理とは何か。」そんなむずかしいことを考えてここに来たのではない。という声があちこちから聞こえてきそうだ。保育や介護福祉の資格獲得のためであって、「真理」なんて難解な哲学的なことを言われるかもしれない。しかし、そう言わずに最後までつきあっている。

皆さんが入学した名古屋柳城短期大学は、キリスト教の精神

に立った学校であることはご存知の通りである。キリスト教の信仰は、ある教祖が黙想して頭に浮かんだ事柄から始まったというものではなく、実は「歴史的な事実」に立脚している。

紀元三三三ころ、遠くパレスチナの地（現在毎日、暴動のニュースが絶えない所）にローマ帝国から派遣されていた地方総督が、これから処刑される一人の男に尋ねた言葉、それが「真理とは何か」であった。総督の名前はポンティオ・ピラト、罪人とされた男とはイエス・キリストである。「真理とは何か」という言葉は、「人間とは、生きる」とは何か。のような、単なる疑問の文章ではなく、二〇〇〇年の歴史の中で人々に向かい問いかけ続けて来た、特別な「根源的言葉」なのである。

ポンティオ・ピラトとイエスとのやりとりはおもしろい。聖書のヨハネによる福音書一八章三三―三八節を、ぜひ読んでみよう。

「真理」とは「本物」ということであり、人間を真実に生かすもののことである。あなたは何を基として生きるのか、つまりいかに保育の業に携わるのか、いかに介護福祉の仕事に生きるのか、なぜ結婚するのか、子どもをいかに育てるのか、死とはどういうことなのか……。それら人生を根源的に支えている「もの」のことである。

「真理」というと、わたしたちは数学的公式や、「地球は自転する」のようなことを考える。ところが歴史の中で、「このわたしこそが真理なのだ」と宣言した人がいるのである。それが、このポンティオ・ピラトが「真理とは何か」と聞いた人物、イエスであった。ここで、「真理とは誰か」という問いが変わっていることがわかる。真理とは冷たい公式ではなく、実は人格

的な暖かいものであり、それは、相手の価値の有無にかかわらず、自分を傷つけてまで、相手を生かすために仕えきった「方」なのであると、その相手とは「わたしたち」のことであると、柳城学院の精神は教えるのである。イエスは、そのために生まれ、この世界に来て（クリスマス）、地上の生涯を送り、十字架につけられ（ポンティオ・ピラトの時）、復活した（イースター）。その一生は人間のためにあった。あなたのために、わたしたちのためにあった。

大学は真理を追い求めるところである。その意味で、この学校に入ったチャンスを生かし、「真理であるイエス」を追い求め、知ることが求められている。そのようにしたとき何と、実は真理であるその方によってあなたは「追い求められていた」とに気がつくだろう。



## 新年度始まる

二〇〇一年四月三日、満開の桜のもと、森紀旦主教(理事長)の祈りの中で入学式が執り行われました。今年度は保育科二〇

二名、保育専攻科五名、介護福祉専攻科二〇名の新入生を迎えることができました。保育科には本学初の男子学生四名が含まれており、またひとつ柳城に新しい歴史が刻まれました。

### 柳城に入学して

保育科一年 渥美純一朗

入学してまず驚いたのはやはり男女比です。全校生徒四百人の中にわずか四人の男ということです。今までの学校生活の中でこれほどの男女比はなかったの



で、少々戸惑っています。そんな中、授業のこれから授

業に全く関係のないことま

で相談にのってくれるアドバイザーの先生に精神的に助けられていると思います。

毎週水曜日に礼拝があるということにも驚きました。今まで十八年間生きてきた中でキリスト教に触れるということがなかったのに、礼拝の中で聖書を読むことや聖歌を歌うことがすごく新鮮で、週一回の礼拝が楽しみになりました。

今の時点で考えても、声楽にピアノ、レポートなど高校時代と違い、なにかと忙しい毎日を送っています。しかし、今までの勉強とは違い、自分の希望で進んできた短大である事と共に、授業の一コマ一コマが自分の将来の希望である幼児教育をするための階段、そして何よりも自分が一番得たい知識の勉強であるということが、積極的に学習しようとする意志を持たせてくれていると思います。

自分自身まだまだ何かと未熟のため学ぶべき部分が大いにあると思うので、一日一日の時間

を大切に、日々、向上して行きたいと思っています。

まだまだ話す機会のない人もいたので、人の輪を広げて行きたいと思っています。

保育専攻科一年 不破美穂子

授業の第一印象として、内容が濃く、充実していると感じました。先生との距離が近く、いつでも質問ができるし、学生の意見も多く

授業に取り入れられます。互いに意見を交換し合うことも多く、そのたびに新しいことに気づくことができます。少し大変だなと感じることもありますが、主体的に参加している実感がありません。また、なんといつても少人数なので、皆が助け合いながら毎日を通していきます。先輩方も親切で、いろいろなことを丁寧に教えてくれます。皆がしつかり目的意識を持っているので、私も



身が引き締まりました。これから保育専攻科で多くの経験や勉強をし、いろいろな人や事に会いたいと思います。そうやって自分の幅を広げながら、目的や目標を見つけていくこと、それが、今とても楽しみです。本科を卒業するときに「柳城に入ってよかった」と思いました。専攻科でも同じことを感じられる気がしています。

介護福祉専攻科 松岡 圭子

入学式当日、保護者と間違われつつ、二五年前卒業した我が身思い出しました。

まじめな学生とは言い難い二年間を送った身として、まさか再びこの門をくぐるとは思いませんでした。長女と同じ年齢の子の中に飛び込むことは、不安が全くなかったといえば嘘になります。入試の際、本科の学生さんたちの姿を見て、なんとなく安心したのを覚えています。

五年前、主人の病気を前にして何もできなかった私が、途方にくれ、涙々の中、死というこ

人の「このままでは、終わらない」といった姿を見て、試練から立ち上がるエネルギーをもらいました。「生きていくこと」を教えてもらい、他人事のように思っていた「介護・福祉」を自分のこととして捕らえた時に、今更ながら、その大切さを実感できたというのが正直な気持ちです。医療や介護に一番大切な「愛」の必要性を身をもって知ることにより、本学の受験を思い立ったのです。

家族や仕事場の理解・協力のもと、時にはくじけそうになりつつ、柳城短大に携わる方々の大きな愛により、学校、仕事、家庭とプライベートな部分は手抜きをし、せっかく与えられた学生という身を感じつつ大いに楽しみ、学んでいます。

入学して一ヶ月、年齢的には浮いている私を快く受け入れてくれている仲間たち。本学の建学精神である「愛をもって仕えよ」をかみしめています。知識・技術、プラス心。そして、今の私たちがだからできる介護福祉士になるため、この一年を仲間たちと乗り越えたいと思います。

## 歴史資料室だより

### ～カナダ時代のヤング先生

#### (その2)～

二度に渡る、カナダでの調査（一回目1998年・二回目1999年）により、ヤング先生について、少しずつではありますが明らかになってきました。

昨年の学報には、ヤング先生がカナダ・オンタリオ州・Aylmer町立学校（小学校～高等学校まで）の幼稚園部門の初めての先生として活躍された資料を写真とともにお伝えしましたが、今回は、先生の出所地と家族についてお知らせしたいと思います。先生の出生地については、これまでオンタリオ州・ヴィエンナということでしたが、一方で幼少の頃スコットランドから家族と共に移民として来られたという説もありました。もちろん、前説が生前からありましたから正しいと思われて

いましたが、どうしてこのような説が出てきたのかその根拠が解ればという願いを持って調査に赴きました。

ヴィエンナという町は、エリー湖に近く、その昔、川を通じ、木材の集積地と木製品の積み出しで栄えた町でした。ヤング先生が生まれた頃は、すでに衰退しておりましたが、住むためにはとても静かな美しい町で今日もその雰囲気は変わりません。

この町に何か手掛かりがないかと、一週間に一度しか開かないこの町の図書館に立ち寄ったところ偶然1861年と1871年の国勢調査書の再版を見つけることが出来ました。（資料a・b）おそろおそろ探してみると、その最終ページにヤング家が記載されていたのです。1861年の時点で家族構成は、父親Robert・母親Mary・姉Hannah・妹Marion・弟Frederick、そして1871年には、もう一人妹Fannyが誕生しています。けれども、そこには、すでに父親の名前はありませんでした。若くして亡くなられたのでしょうか。ここから、先ほどの出生地がカナダ・オンタリオ州であることが確認できました。しかし、ヤング先生が日本で亡くなられたことを報じた地元新聞には、やはりスコットランドからと書かれていたのです。おそらく当時、父親の出身国が区別する大きな要素であったということかもしれません。とにかく、このようにしてヤング先生の家族や宗教・職業その他が分かってきました。そして、国勢調査書の初めのページには、ヴィエンナの町は、今は昔の繁栄はないが町の人々は教育に熱心でハイスクールを建てたこと、その学校は、多くの優秀な先生たちを輩出していること、そこの校長の下に第一副部長であるマーガレット・ヤング女史が在任されたことについても記載されていました。

（助教授 尾上明子）



ヤング先生ゆかりのPort Burwellの教会  
（町の最古の建造物）

| 資料 a 1861 年 CENSUS |           |     |            |                |           |                |         |          |
|--------------------|-----------|-----|------------|----------------|-----------|----------------|---------|----------|
| Last Name          | First     | Age | Occupation | Place of Birth | Religion  | Marital Status | Page No | Comments |
| Wright             | James     | 36  | Grocer     | U. C.          | F. C.     | M              | 12      |          |
|                    | Elizabeth | 38  |            | Scotland       | F. C.     | M              | 12      |          |
|                    | S. J.     | 12  |            | U. C.          | F. C.     | S              | 12      |          |
|                    | James R.  | 9   |            | U. C.          | F. C.     | S              | 12      |          |
|                    | Richard   | 38  | Labourer   | U. C.          | Methodist | M              | 8       |          |
| Yocum              | Louisa    | 36  |            | U. C.          | Methodist | M              | 8       |          |
|                    | John      | 2   |            | U. C.          | Methodist | S              | 8       |          |
| Young              | Robert    | 41  |            | Scotland       | F. C.     | M              | 5       |          |
|                    | Mary      | 41  |            | U. C.          | C. of E.  | M              | 5       |          |
|                    | Hannah    | 8   |            | U. C.          | C. of E.  | S              | 5       |          |
|                    | Margaret  | 5   |            | U. C.          | C. of E.  | S              | 5       |          |
|                    | M.        | 3   |            | U. C.          | C. of E.  | S              | 5       |          |
|                    | Fred      | 1   |            | U. C.          | C. of E.  | S              | 5       |          |

| 資料 b 1871 年 CENSUS |           |     |            |                |           |                |         |          |
|--------------------|-----------|-----|------------|----------------|-----------|----------------|---------|----------|
| Last Name          | First     | Age | Occupation | Place of Birth | Religion  | Marital Status | Page No | Comments |
| Wilson             | Marla     | 18  |            | Ontario        | Prot.     | S              | 18      |          |
| Wright             | Edward    | 4   |            | Ontario        | Prot.     | S              | 18      |          |
|                    | James F.  | 45  | Grocer     | Ontario        | Presb.    | M              | 6       |          |
| Wright             | Elizabeth | 49  |            | Scotland       | Presb.    | M              | 6       |          |
|                    | Mary      | 23  | Teacher    | Ontario        | Presb.    | S              | 6       |          |
| Wright             | Sarah     | 21  | Teacher    | Ontario        | Presb.    | S              | 6       |          |
|                    | James     | 18  | Carpenter  | Ontario        | Presb.    | S              | 6       |          |
| Wrong              | Gilbert   | 43  | Machinist  | Ontario        | C. of E.  | M              | 29      |          |
|                    | Christina | 42  |            | Scotland       | C. of E.  | M              | 29      |          |
| Wrong              | Heleen A. | 15  |            | Ontario        | C. of E.  | S              | 29      |          |
|                    | James     | 13  |            | Ontario        | C. of E.  | S              | 29      |          |
| Wrong              | George    | 11  |            | Ontario        | C. of E.  | S              | 29      |          |
|                    | William   | 8   |            | Ontario        | C. of E.  | S              | 29      |          |
| Yocum              | Richard   | 49  | Farmer     | Ontario        | Methodist | M              | 13      |          |
|                    | Louisa    | 46  |            | Ontario        | Methodist | M              | 13      |          |
| Young              | Wm.       | 5   |            | Ontario        | Methodist | S              | 13      |          |
|                    | Mary      | 53  |            | Ontario        | C. of E.  | S              | 26      |          |
| Young              | Hannah    | 19  | Teacher    | Ontario        | C. of E.  | S              | 26      |          |
|                    | Margaret  | 15  |            | Ontario        | C. of E.  | S              | 26      |          |
| Young              | Marion    | 12  |            | Ontario        | C. of E.  | S              | 26      |          |
|                    | Frederick | 10  |            | Ontario        | C. of E.  | S              | 26      |          |
|                    | Fanny     | 8   |            | Ontario        | C. of E.  | S              | 26      |          |

二〇〇一年度

保護者会役員

本年度は次の方が任を負って  
頂くことになりました。よろし  
くお願いします。

会長 里富いつみ  
副会長 宇佐美豊子  
会計監査委員 加藤千鶴子  
会計監査委員 稲葉照与  
会計監査委員 牧野八千代  
林由美子  
岡田真弓  
奥村千津子  
神野清美  
西田京子  
磯部美佐子  
平子明美  
中村みゆき  
吉村春子



## 柳城に赴任して

菅原 裕治



はじめまして、二〇〇一年四月よりチャブレン・キリスト教関連科目専任講師として赴任した菅原裕治です。チャブレンという言葉は、聞き慣れない人も多いと思いますが、英語で教会以外の場所で働く牧師を意味します。つまり大学の牧師です。なぜ大学に牧師がいるのか、それは、名古屋柳城短期大学が、キリスト教の精神を基にして設立された学校だからです。これからは、礼拝とキリスト教関連の授業でお会いすると思います。

私の専門領域は、新約聖書学です。特に「マルコによる福音書」の文学的研究（物語批評的研究）です。授業では、キリスト教全般について教えることになるとありますが、聖書を物語として読むことの素晴らしさも伝えられたいと思っています。この大学に入学して、初めてキリスト教に触れるという人も多いかもしれません。私も、教会の牧師、神学校（牧師になる

人のための学校）や大学教員の経験はありますが、チャブレンという働きは初めてです。私にとっても、毎日が新しい発見の日々です。この学校には、百年を越える歴史の流れがあります。その流れの中で、学校で出会う皆さんと一緒に、有意義な共育をしていきたいと思っています。

柴野 正勝



昨年の十月より名古屋柳城短期大学の専攻科介護福祉科介護福祉専攻に勤務しています。柴野正勝です。担当科目は介護概論、形態別介護技術、実習指導などです。私は、東京都葛飾区にある社会福祉法人の特別養護老人ホームや高齢者デイサービスセンターで十二年半勤務して来ました。その現場で多くの方々から学ばせていただいた経験と知識を、今度は介護福祉士目指して目を輝かせて入学した学生たちに、介護福祉士としての専門的知識と介護のすばらしさを伝えていき、一人でも多くの学生が介護の道へ進み、これからの高齢社会を担ってほしいと思っています。

東京から名古屋へ来てまだ半

年ですが、私の生まれは愛知県江南市です。父の仕事の関係ですぐに北海道へ転居してしまっただけで、愛知県での記憶は全くなくアルバムの写真を見て実感がありません。今回生まれ故郷に戻ってきた形なのですが、愛知県地方の言葉や食事もとてもし新鮮です。都合で家族はそのまま東京に残ったため、現在は単身赴任の生活です。小学一年生の長男と幼稚園年中組の長女と離れての生活はともさびしく、あじけないもので、早く一緒に生活ができるようにしていきたいと思っています。今は一ヶ月に二回程度東京へ帰ります。家族に会える日を楽しみに日々がんばっています。

名古屋柳城短期大学の印象は、全員が誰にでも自然にあいさつができることで、初日から圧倒されました。気持ちのこもったあいさつは第一印象でもプラスになります。自然にあいさつができることは保育、介護の世界へ出て必要なことです。これからは専攻科介護福祉専攻だけでなく、保育科そして柳城学院の皆さんとも、あいさつをきっかけにたくさん話しをしていきたいと思っていますので、よろしく願います。

## 一・二年生合同ゼミナール

## －出会い・ふれあいin IRAGO－を終えて

学生生活委員長 野々垣文成  
新学期も始まったばかりの四月二十日（金）～二十一日（土）にかけて、愛知県渥美町伊良湖岬にある伊良湖ガーデンホテルに於いて、二・二年生 学外合同ゼミナールが実施された。本学としては、一、二年生合同で実施されるのは三回目である。

高級感あふれる

ホテルでの一泊二日の研修は充実したものであった。

この研修のメインである講演は、阿部康子先生にお願いした。先生は

本学の卒業生であり、現在、愛知双葉幼稚園園長として、また、現役で担任を持つてのご活躍である。先生の講演内容は、現場の真に迫るお話をエピソードを交えながら、二年生はもちろんのこと新入生にも分かりやすく感動的にお話くださった。他にクラスごとに競った砂の造形コンクール、全学での新入生歓迎会、二十四グループに分



かれての、二年生混合グループ、討論、二年生はおめ

テーブルマナーと盛り沢山の内容で実施された。

この合同ゼミナールで、一年生はこれからの二年間の学生生活のあり方を、二年生は保育者としての将来を再認識できたであろう。

感動的な二日間であった。

保育科一年 原 幸平

今回の合同ゼミナールでは、たくさんの方の素敵な発見をしましたが、二日間と短い期間でしたが、とても充実した内容で有意義でした。

柳城の卒業生である阿部先生のお話からは、子どもがどんなに不思議なものであるか、そして、どんなに素敵なものかを感じることができました。先生は「本当に保育がおもしろい、おもしろくて止められない」と

おっしゃいました。人の成長、人の育ちに自分が関わっていく仕事は保育しかないと話されました。私はそれを聞いて、先生は常に自分自身の理想を追い続けて、今を素敵に生きておられるのだと思いました。私はますます保育への希望が膨らみました。

砂の造形ではクラスのとまの力・団結力を発見しました。私たちのグループでは、初め、お城を作る計画でしたが、全然うまくいかず、中途半端で終わってしまうのではないかと思っていました。みんなのお城の構想が一致せず、一部の人は離れて砂だんごを作っていて、時間も残り三十分、不安でいっぱいでした。しかし、必至にみんなで作りました。砂だんごと、このお城の土台のようなものが何とか使えないものかと思った時に、「そうだ！大仏をつくろう」と閃きました。そしてみんなで一心不乱に作り上げました。完成した後の満足感は、何とも言葉には言い表せられないものがありました。

同じAクラスのもう一つの作品も素晴らしい出来栄でした。

そして、この二つの作品は共に賞を頂くことができました。とても嬉しかったのですが、やはり賞を貰ったことよりも、集団の良さを実感したあの一瞬を感じられたことが、もっとも嬉しいことでした。

新入生歓迎会では、二年生の人たちのパワーを見せつけられました。けれど、私たちA組みの出しもの（ヤングマン）も、バッチリ成功して盛り上がりました。



特に二年生の人たちの、私たちの、私たち一年生に對する歓迎の気持ちがとても強く伝わってきたので感激しました。

二日目のグループ討論では、阿部先生の出された「保育の先生って何する人？」ということについて話し合われましたが、後の発表の場で、柳城生一人ひとりが真剣に保育に対して意識付けをしていて、自分の意見を

持っているのだなと感じました。そしてこの討論の中でも、二年生からたくさんのアドバイスを頂き、とても為になりました。

このような二日間の中での一番の発見は、先生方と生徒との人間関係でした。先生方は、一人ひとり色々なおもしろさがあつて、キラキラ・生き生きしています。そして生徒のことを熱心に考えて下さっています。合同ゼミナールを終えて、柳城の良さを改めて感じる事ができました。学校という場において、先生・生徒の関係は非常に大切であると思います。この学校に入って良かった。保育という分野に進んだことが間違いではなかったと感じられたことが、何よりも収穫であったと思います。

合同ゼミナールに参加して、私はとても有意義な時間を過ごすことができました。

#### 保育科二年 安立 会里

一日目の阿部康子先生の講演は、楽しそうに話されている姿がとても印象的で、メモをとるのも忘れて聞き入ってしまったと共に「私もあんな素敵な先生に

なりたい」と思いました。

阿部先生からの「先生って何するの？」というテーマでのグループ討論では、簡単なようでも難しいテーマに、なかなか討論が進みませんでした。しかし、話をしていくうちに、一年生の新鮮な意見をたくさん聞くことができました。二年生の意見は、変に知識が先立っていて、自分の言葉ではなく、教科書をそのまま抜き出したように思えました。一年生の意見を聞き、入学前に思い描いていた理想の保育者像を思いださせられました。

その後、学校生活について話しました。普段、真面目に話すことがあまりないため、とても内容の濃いものになったと思います。一年生も、不安なのはみんな同じだということが分かって安心したのではないのでしょうか。これからも、こういった機会が設けられたらと思います。

二日間の中で一番の思い出は、会の総合同会をさせていた、たきました。大勢の人の前に立つことはとても苦手なので、歓迎会が始まるまで緊張と不安でいっぱいでした。

クラ



スやク

ラブの練習をしながら、どうしたうしたら盛り上げられるか

考えましたが、考えれば考えるほど空回りして、不安が増すばかりでした。でも、勢いませで始まった歓迎会は、みんなの協力で予想以上に盛り上がったので、とても嬉しく思いました。

初めはどうなるかと思っていたことがうまくいったので、終ったあとは達成感でいっぱいでした。また先生方や友達にお褒めの声をかけて貰った時は、何ともいえない喜びでいっぱいになり、自信にもつながりました。本当によい経験をさせてくれたこと、このような機会を与えて下さったことに感謝します。

これからは、ここで得たことを活かして、実習や柳城祭などに取り組んでいきたいと思えます。

# 本年度の就職状況

〈就職率は今年も一〇〇%〉

二〇〇〇年度の卒業生数は、保育科、専攻科保育専攻・介護専攻、合わせて二〇六名でした。

その内、一八三名の学生が就職を希望したのですが、全員ほぼ希望どおりの職に就き、昨年度に続いて一〇〇%の就職率を達成することができました。大学卒業生、とりわけ、短大生の就職はいぜん氷河期にあり、厳し

い状況が続いています。その中であって、本学の就職率の高さは、大きく評価することができると考えます。

学生が就職内定を得るまでの経過を振り返って見ますと、十月末時点での就職率は約五〇%、一月末で九四%、二月中旬でほぼ一〇〇%と、順調に推移しました。また就職希望者一八三名の内、約七四%に当る一三五名の学生が、一度の受験で内定通

知をいただいています。この数値も例年に比べるとかなり高いものです。

本年度の卒業生、特に保育科の学生は音楽の学期末評価がたいへん悪く、受験先からもその点を問題にされて、苦しみながら就職試験に臨んだ者がかなりいました。それでも前記のような好結果を上げることができたのは、それぞれの学生が真剣に、真面目に就職活動に取り組んだ成果であると考えます。

## 〈高い専門職への就職比率〉

た夢を実現しています。また表のように、幼稚園・保育園・施設からの求人数もたいへん多く、その合計は年々増加してきています。

毎年これだけ多くの求人票が届き、採用していただいているということは、園や施設からの本学に対する期待の大きさを表われないではないでしょうか。それだけに、より高い専門性を身につけたすぐれた学生を送り出し、その期待に添うようにしなければならぬと考えます。

## ○一般入学試験

出願受付期間

一月十六日～一月二十五日

一般入学試験日

二月一日・二日

募集専攻―保育専攻 一五名

介護福祉専攻三〇名

## ○第一次入学試験

出願受付期間

六月二十五日～七月九日

試験日

七月十四日

## ○第二次入学試験

出願受付期間

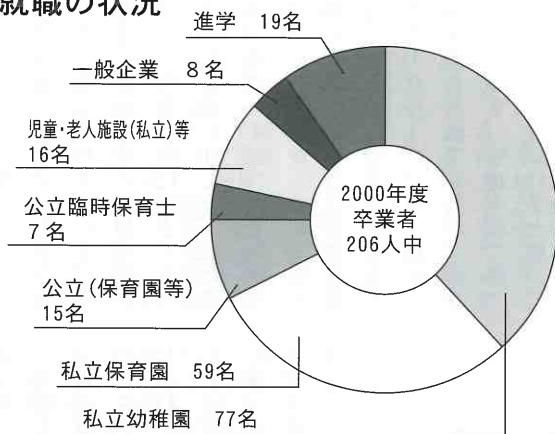
二月一日～二月八日

試験日

二月十六日

募集要項請求及び入学試験等の問い合わせは教務科まで。

## ◎就職の状況



|          | 卒業生数<br>(人) | 就職希望者数<br>(人) | 就職率<br>(%) | 進学者数<br>(人) | 就職希望なし<br>(人) |
|----------|-------------|---------------|------------|-------------|---------------|
| 本 科      | 174         | 152           | 100        | 19          | 3             |
| 専攻科 保育専攻 | 2           | 2             | 100        | 0           | 0             |
| 介護福祉専攻   | 30          | 28            | 100        | 0           | 2             |
| 計        | 206         | 182           | 100        | 19          | 5             |

## ◎専門職への就職比率・求人票数

| 年度(平成)             | 9    | 10   | 11   | 12   |
|--------------------|------|------|------|------|
| 専門職への就職<br>の割合 (%) | 93.7 | 92.4 | 95.8 | 95.6 |
| 求 人 票 数            | 296  | 308  | 376  | 419  |

本学の学生の就職状況の特色として、もう一つ、専門職としての就職率の高さがあります。本年度、幼稚園・保育園・児童施設・老人施設へ、専門職として就職した学生は九五・六%になります。希望者全員、目指す就職を得ることができました。

さかのぼって見ても、平成九年度以降は、毎年九五%前後の学生が大学で学んだ専門知識、技能を生かして、入学以来持ち続けた夢を実現しています。また表のように、幼稚園・保育園・施設からの求人数もたいへん多く、その合計は年々増加してきています。

毎年これだけ多くの求人票が届き、採用していただいているということは、園や施設からの本学に対する期待の大きさを表われないではないでしょうか。それだけに、より高い専門性を身につけたすぐれた学生を送り出し、その期待に添うようにしなければならぬと考えます。

## 二〇〇二年度 学生募集要項

二〇〇二年度 保育科・専攻科(保育専攻・介護福祉専攻)の入学試験を左記の要項にて実施いたします。

募集学科―保育科

募集定員―一五〇名

## ○推薦入学試験

出願受付期間

十一月一日～十一月六日

推薦入学試験日

十一月十日・十一日

## ○一般入学試験

出願受付期間

一月十六日～一月二十五日

一般入学試験日

二月一日・二日

募集専攻―保育専攻 一五名

介護福祉専攻三〇名

## ○第一次入学試験

出願受付期間

六月二十五日～七月九日

試験日

七月十四日

## ○第二次入学試験

出願受付期間

二月一日～二月八日

試験日

二月十六日

募集要項請求及び入学試験等の問い合わせは教務科まで。



## 柳城幼稚園便り

園長 先田 泰子

門の入り口の、小さな花壇に色とりどりの可憐な花が次々と咲き、登園してくる親子を歓迎しているようです。

チューリップ、ムスカリ、パンジー……。昨春秋、保護者の有志が丹精込めて種や球根を蒔き、厳しい冬をのり越え、みごとに花を咲かせた感動は、真に子育てと重なる部分があるように思います。

さて幼稚園では、第一回の園外保育に名古屋城まで年中、年長は、片道のみ徒歩で頑張りました。年少は現地集合、現地解散。年少は初めてのお弁当でもあり、場所も変わり、とても不安気でした。涙の出る子も数人、



職員の手から離れ難い子もいましたが、お弁当の頃には満面の笑みがこぼれ、楽しい一日となったように思います。又年中、年長は天守閣まで登り、名古屋の歴史にもふれ貴重な社会勉強をしたことでしょう。

今年より一学級増で他の附属園に先がけ、満三オクラスができました。園長として駆け出しで、暗中模索の毎日ですが、幸にしてベテランの職員を二名与えられ、少しずつ軌道に乗りつゝあります。現在満三才児、

間もなく三才児になる子を十四名受入れ六十名の幼子を通園致しております。神様から与えられたこの幼子を大切に育んでいきたいと思ひます。これから、夏から秋にかけての二大イベントである「夕涼み会」「秋のバザール」に向けて、保護者の方々や全職員で、子ども中心の行事となりますよう心をついて取り組んでいきたいと願っています。

## 瑞穂幼稚園

## 果たせない夢

園長 夏目 恒雄



瑞穂幼稚園は、この地に根を下ろして七十二年の歳月が流れました。多くの方に見守られて、多くの幼子たちが「ひかりの子」として巣立ちました。幼子と共に歩んだ七十二年でありました。この間、戦争という悲惨な体験をしました。幼稚園に関わってくださった多くの人々の祈りを通して、今日も幼子たちの為に奉仕させていただいております。

しかし、近年、学院全体に「経営」という言葉が飛び交い、人々の心は幼子たちの為に奉仕することから、経済的効率へと切り替わってきました。瑞穂幼稚園も例外ではありません。また、七十二年という歴史と教育・文化からも心が離れ、「幼子の為に」という責任を果たせなくなり、皆様すでにご存じと思ひま

すが、四年前に「平成十五年三月をもって休園する」という結論が通知されました。

二十一世紀を迎えた新しい世紀の初めに、諸先輩から預かった「幼児教育」という大

きな夢と責任を果たせなくなつたこと、誠に残念であり、申し訳なく存じます。幼稚園は、在

園児の現況から、本年度が最後の教育活動の年度になりました。この最後の一年を位田朋美主任

を中心に、花之内直恵、山本香(旧姓・岡田)各先生と共に九名の幼子たちが、元気な声をあげて楽しい生活を送っています。休園後の方針は決定していませんが、フレーベルやベスカロツチの懐いた気持ちを大切に、瑞穂幼稚園最後の園児となります九名の幼子の成長を見守りたいと存じます。

## 豊田幼稚園便り

園長 関 俣子

「かみさまにかんしゃしまししょう」ハレルヤ ハレルヤハレルヤ「子ども達の賛

美の歌声が聞こえます。

新緑の木々、ピンク色の大きな花弁をいっぱい広げて咲く花水木、紫と白の花が競い合つて咲く藤、色とりどりの花壇の花たちが新学期を迎えた子ども達の心を和ませてくれました。

園児二〇三名、学級数一〇クラス、職員十三名で新年度がスタートいたしました。

今、日本の幼稚園は小児化の波が押し寄せ大きく変わりつつあります。国は小児化対策を打ち出していますが、園としては今後どう対応していくべきか大きな課題となっています。

まず私共の園では今年度より「預かり保育」に関するアンケートを取り、それを参考に水



曜日の預かり保育(十一時三〇分より三時間預かる)を実施することになった。行方からは最も良い状態の中で子どもを預かっていきたいと思っています。

又、「絵本の読み聞かせ」にも、もっと深く取り組んで行こうというところで、四月早々職員の勉強会を持ち、母親にも「子育てトーク」で絵本について学ぶ時を持ちました。十一月にはバザーも予定しています。母親同士の交流を深めるとともに、自分を活かすことに喜びを見つけてもらえたらと思っています。すでに保護者会の役員が中心となり動き出しています。

小児化時代を迎えた今、幼稚園は園と保護者と地域とがよい関係を保ちながら、又、これらの保育の在り方をよく検討し、今まで以上に保育の向上を計ってまいりたいと考えています。新しい時代を担っていく子ども達のためにも。

## 聖マリアレット幼稚園便り

園長 小松 伯子

若葉の薫る季節、まだ生まれ



てまもない本園は、お陰さまで二年目を迎えました。六九名から出発した園児数は今年一五二名と膨れ上がり、来年度は更にもう一クラス増える予定、うれしい悲鳴を上げています。良く設計されたニュータウンの保護者は子育て真っ最中の若い方が多く、ここだけは少子化時代がうそのように思われます。まだまだ立ち上げの苦労の中にいますが、教職員が一つになり子どもたちのため、地域社会のため、神様のみ栄えを現わしていく存在となることができるよう、土台作りに励んでいきたいと思っています。皆様のお祈りとお支えを、心よりお願い申し上げます。

## 同窓会総会 ご案内

日時 六月十六日(土)十時～二時半  
場所 愛知厚生年金会館(池下)  
会費 三〇〇〇円(当日受付で)  
講演 大和田伸也氏  
演題 「人生は夢と情熱」  
昼食 立食パーティー  
お申込み 当会の返信ハガキで  
託児希望 就学前幼児三〇〇円  
皆様のご参加をお待ち申し上げます。  
尚、住所・改姓等、ご変更の場合、のぞみの会(短大宛)までご連絡をお願いします。

名古屋柳城短大同窓会

のぞみの会会長 青山 道

## お知らせ

昨年より、秋の創立記念礼拝で本学役員、教職員、卒業生の方々の、ご逝去を覚え、お名前を読み上げて学生と共に式典のなかで追悼をいたしております。ご逝去の方をご存じの方は短大事務局までご連絡ください。

## 人 事

### 退任

(2001年3月31日付)

### 学院

立川 浩三(理事)  
神山 四郎(監事)  
岩井 勇児(評議員)  
渋谷 良子(評議員)  
赤石百合子(評議員)  
戸谷 保子(評議員)

### 短大

上床 益代(助教)  
渋谷 一郎(非常勤講師)  
土井 宏純(非常勤講師)  
野村 潔(非常勤講師)  
若山 宏(非常勤講師)  
稲熊 和彦(教務課課長)

### 附属幼稚園

立川 浩三(三好幼稚園長)  
山本 香(瑞穂幼稚園主任)  
米津 愛(豊田幼稚園)  
石野 珠子(三好幼稚園)  
竹内もと子(三好幼稚園)  
原 忠男(三好幼稚園)

### 異動

(2001年4月1日付)  
小松 伯子(三好幼稚園長)  
前崎 初子(三好幼稚園主任)  
南川たか子(豊田幼稚園主任)  
林 知子(三好幼稚園)  
吉田 正(教務課課長)  
塚田 一宣(兼総務課長)

### 昇任

菅原 裕治(チャレン兼講師)  
伊藤 貴啓(非常勤講師)  
(2001年4月1日付)  
村瀬 均(総務課係長)  
先田 泰子(柳城幼稚園長)  
位田 朋美(瑞穂幼稚園主任)

